

## ■グループ営業概況

平成18年度前半は、紀陽銀行と旧和歌山銀行の合併に向けた大規模な店舗統廃合を控えるなかで、旧和歌山銀行において預金、貸出金が減少いたしました。

しかしながら、平成18年10月に両行が合併して誕生した新・紀陽銀行は、合併と同時にスタートいたしました「第1次中期経営計画」に取り組むなかで、中小企業向貸出および預金の増強と役務収益の拡大に注力しました結果、預金、貸出金ともに計画を上回る増加となり、また投資信託など預かり資産販売手数料も順調に増加いたしました。

さらに、前期(平成18年3月期)に合併後の財務リスクを一掃するため厳格な査定に基づく大幅な引当処理を実施したことに加え、地域経済に少しずつ明るい兆しが見え始めたことなどから償却債権取立益を含めた与信費用の総額は減少いたしました。

以上により、連結経常収益は806億8,300万円、連結経常費用は724億7,700万円となり、連結経常利益は82億600万円、連結当期純利益は81億8,000万円となりました。

なお、紀陽ホールディングス単体の業績につきましては、子銀行からの受取配当金などの収入により、営業収益が85億7,200万円、経常利益が79億8,700万円、当期純利益が79億4,600万円となりました。

## ■主要な経営指標

|                   | (単位:) | 平成18年3月期  | 平成19年3月期  |
|-------------------|-------|-----------|-----------|
| 連結経常収益            | 百万円   | 75,529    | 80,683    |
| 連結経常利益            | 百万円   | 996       | 8,206     |
| 連結当期純利益           | 百万円   | 3,297     | 8,180     |
| 連結純資産             | 百万円   | 110,756   | 154,644   |
| 連結総資産             | 百万円   | 3,245,141 | 3,326,278 |
| 1株当たり純資産          | 円     | 139.07    | 159.53    |
| 1株当たり当期純利益        | 円     | 6.78      | 12.46     |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 円     | 5.70      | 10.78     |
| 連結自己資本比率(第二基準)    | %     | 9.52      | 11.58     |

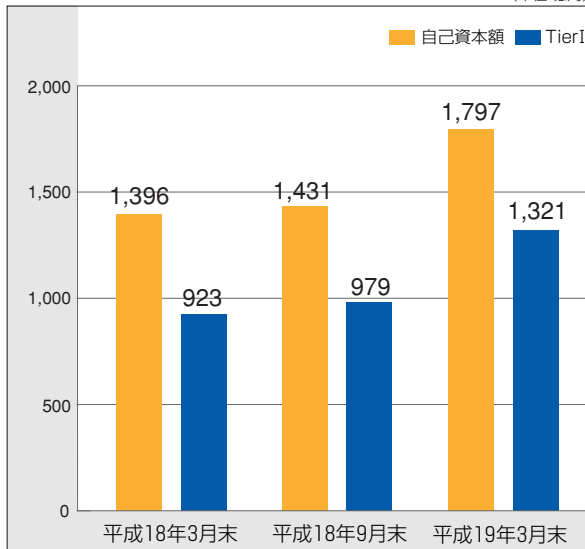
※平成18年3月期の業績につきましては、紀陽銀行の平成17年4月1日から平成18年3月31日までの1年間の業績と旧和歌山銀行の平成18年2月1日から平成18年3月31日までの2カ月間の業績が連結対象となっております。

## ■自己資本の状況

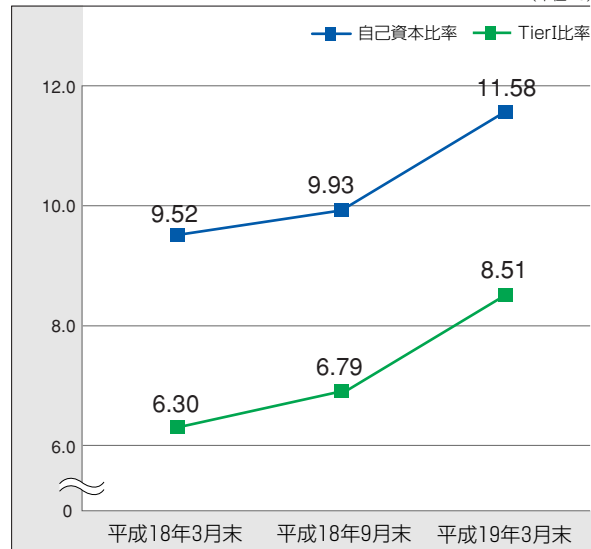
中期経営計画における主要戦略のひとつである、営業力の強化と地域における積極的なリスクテイクによる「攻めの経営」への転換を下支えするための自己資本充実策として、平成18年11月に金融機能強化法に基づく公的資金315億円を受け入れました。

さらに、平成19年3月期においては、当初計画を上回る81億円の連結当期純利益を計上したことなどにより、自己資本額が前期末対比400億円増加(Tier Iは397億円増加)したことから、紀陽ホールディングスの連結自己資本比率は11.58%となりました。

連結自己資本額の状況 紀陽ホールディングス連結 (単位:億円)



連結自己資本比率の状況 紀陽ホールディングス連結 (単位:%)



|            | 平成18年3月末 | 平成18年9月末 | 平成19年3月末 | 平成18年3月末対比 |
|------------|----------|----------|----------|------------|
| 自己資本額      | 1,396億円  | 1,431億円  | 1,797億円  | 401億円      |
| うちTier I   | 923億円    | 979億円    | 1,321億円  | 398億円      |
| うちTier II  | 479億円    | 460億円    | 476億円    | ▲3億円       |
| リスクアセット    | 14,661億円 | 14,417億円 | 15,518億円 | 857億円      |
| 連結自己資本比率   | 9.52%    | 9.93%    | 11.58%   | 2.06%      |
| 連結Tier I比率 | 6.30%    | 6.79%    | 8.51%    | 2.21%      |
| 繰延税金資産額    | 333億円    | 323億円    | 290億円    | ▲43億円      |
| Tier I対比   | 36.1%    | 33.0%    | 22.0%    | ▲14.1%     |

## ■配当方針

利益配分に関しましては、銀行持株会社の公共性を鑑み、経営の健全性を確保するための適正な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を実施することを基本方針としております。

こうした方針に基づき、平成19年3月期の期末配当につきましては、普通株式1株につき2円50銭とし、その他の各種優先株式についてはそれぞれ所定の金額をお支払いさせていただきました。

今後につきましては、収益力の強化と業務の効率化を進め、第1次中期経営計画を着実に遂行することにより普通株式の配当増額を図る方針であり、平成20年3月期の配当につきましては、普通株式1株につき3円への増額を予定しております。